



全壊した家屋



オリエンテーション

九州北部豪雨災害被災地の 災害VC支援活動

県社協と市町村社協の職員が阿蘇市で

鹿児島県社会福祉協議会は、「九州ブロック災害時相互応援協定」に基づき、7月26日から8月5日まで県内6市町社会福祉協議会と連携して、熊本県阿蘇市災害ボランティアセンター(vc)の運営支援に取り組みました。

阿蘇市では、7月11日から降り続いた豪雨により、川の氾濫や土砂崩れなどが発生し、22名の死者・行方不明者と100戸に近い家屋の全半壊また道路や田畑に大きな被害がありました。

災害ボランティアセンターには、熊本県内はもとより、九州各県や遠くは兵庫県などから多くのボランティアが駆けつけて、泥だしや家屋の後片付けに献身的に取り組んでいました。

本県からは4名ずつに2班(8名)に分かれ、阿蘇市災害ボランティアセンターの運営にあたりました。

始良市 NPO法人 Lab蒲生郷

自分たちのふるさとである蒲生を活性化させ、輝かせるために何ができるか？ そんな思いを胸に立ち上がったNPO法人 Lab蒲生郷。

2007年に設立され、将来の地域の担い手となる青少年や住民に対して、自然や文化、芸術を体感できる場を提供し、文化の振興や環境保全、国際理解などの振興を図りながら住民参加型のまちづくりをめざして活動しています。



ふるさとの絵本製作

蒲生町に古くから伝わる民話を、子どもたちが気軽に読める楽しい絵本としてよみがえらせました。町独自の文化や歴史を反映したオリジナルな絵本「おおくすと大蛇」です。



孤高の彫刻家 板橋一步展

郷土蒲生が生んだ彫刻家です。1911年生まれで苦学して富山県砺波市の学校の美術教師として招かれて以来、彫刻一筋。最後は井波伝統産業会館長を務め、1993年に没する。今年は生誕102年になります。現在、蒲生ふるさと交流館に「不屈の魂 板橋一步」で常設展示してあります。入場無料です。どうぞご鑑賞ください。